

■特集	都市計画道路 温泉中央南線(こおろぎ)の完成	・・・1
■	あのまち、このまち“まちづくりめぐり”	
	志賀町ますほの丘住宅	
	～若者の定住人口の確保にむけて～	・・・4
	あわづ おっしょべ広場「踊ろっさ」の完成	・・・5
	いしかわ広告景観賞について	・・・6
	木場湯公園西園地のライトアップ完成について	・・・7
■	センターだより	・・・8

特集

都市計画道路 温泉中央南線（こおろぎ）の完成

1 はじめに

都市計画道路 温泉中央南線（通称「ゆげ街道」）は、松尾芭蕉をはじめ多くの文人が訪れた温泉地としても知られる山中温泉のメインストリートであるとともに、こおろぎ橋～鶴仙溪～あやとり橋～総湯を結ぶ観光回遊ルートとして重要な道路です。

しかしながら、幅員が狭く歩道が未整備であり、歩行者や自転車が安心して通行できない状況であったことから、温泉街の賑わい創出と回遊性の向上を目的に、平成9年から、県と地元が一体となって、道路拡幅と無電柱化を中心とした街並み整備を進めてきました。

平成15年に南町工区、平成25年に湯の出町工区が完成し、さらに平成26年からは、こおろぎ町工区で事業に着手し、本年8月に事業開始から4半世紀をかけ、ようやく整備が完了しました。



2 事業概要

路線名：都市計画道路 温泉中央南線

事業区間：加賀市山中温泉湯の出町

～こおろぎ町 地内

事業期間：平成9年～令和元年

事業延長：L=637m

南町 L=342m

湯の出町 L=155m

こおろぎ町 L=140m

事業幅員：W=13m（車道3.0m×2、歩道3.0m×2）



整備前の状況（こおろぎ町）



標準断面図



整備後の状況（こおろぎ町）

3 まちづくり

地元では、住民主体の協議会を立ち上げ、建築物などの景観整備に関するルールを取り決め、山中らしい沿道景観の整備を行うとともに、商店街では、1店舗2業種といった観光客向けの販売を行うなど、温泉街の賑わい創出に向けた様々な取り組みを行っています。

また、県では、道路幅幅と無電柱化に合わせ、温泉街がもっとも賑わっていた大正から昭和初期にかけての「土のみち」をイメージした車道舗装や季節を彩る街路樹の植栽など、温泉街にふさわしい道路修景整備を行いました。



街なみ修景イメージ（湯の出町）



ハナモモ（湯の出町）

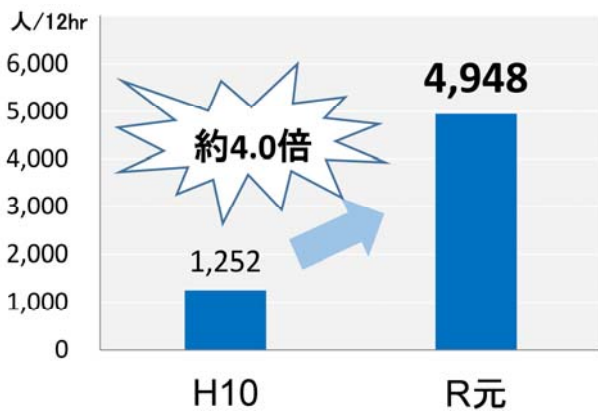


シダレモミジ（こおろぎ町）



ハナミズキ（南町）

こうした県と地元が一体となった取り組みの結果、山中温泉の歴史と文化が感じられる温泉情緒豊かな通りへと生まれ変わり、歩行者数は、整備前の平成10年と比べ、約4倍と大幅に増加し、商店街も賑わいをみせています。



歩行者数比較グラフ

4 完成を祝う会

令和元年9月16日（祝）には、南町、湯の出町、こおろぎ町の3協議会で構成された、完成を祝う会実行委員会の主催による「都市計画道路 温泉中央南線 山中温泉ゆげ街道の完成を祝う会」が、知事、加賀市長など多数の関係者列席のもと、執り行われました。また、くす玉開披や山中和太鼓倶楽部にじっ子による演奏が行われ、多くの人が集まり賑わいました。



くす玉開披



山中和太鼓倶楽部にじっ子による演奏

5 おわりに

今後とも、今回完成した「ゆげ街道」を基盤として、地元の皆様が思いを一つに活気溢れるまちづくりを進められ、山中温泉にさらなる賑わいが創出されることを心から期待します。

【問合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL :076-225-1758

E-mail:toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

志賀町ますほの丘住宅～若者の定住人口の確保にむけて～

1 はじめに

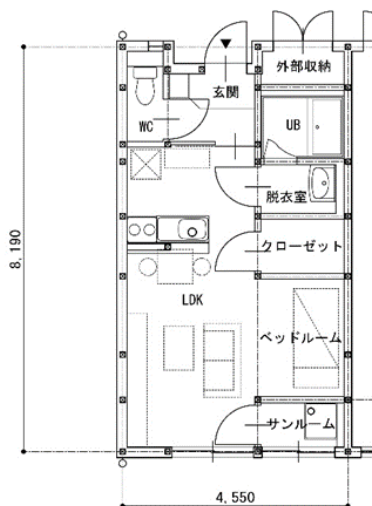
本地区は、役場から車で約20kmに位置し、増穂浦海岸やスーパーなどの商業施設、役場富来支所や町立富来病院などの公共施設があり、利便性が高い場所ですが、民間賃貸住宅が一件もありません。

近年、この地域の若者の人口減少が顕著であることから、今回、社会資本総合交付金を活用して中級層の若者をターゲットにした地域優良賃貸住宅を整備することとなりました。

2 事業概要

【 単身者棟 】

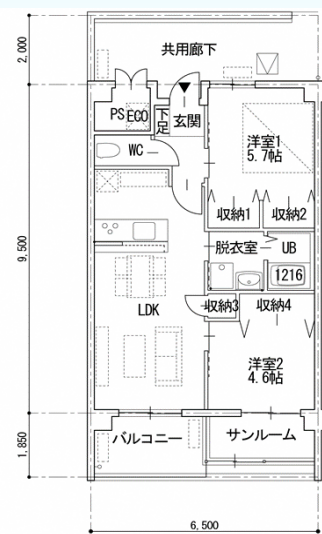
所在地	志賀町里本江53の6番地5
敷地面積	1,406.02 m ²
延床面積	291.49 m ²
構造	木造平屋建て 準耐火構造
整備戸数	1棟8戸（長屋）
事業期間	平成29～30年度
総事業費	119,803千円



▲ 単身者棟

【 ファミリー棟 】

所在地	志賀町里本江53の6番地6
敷地面積	3,494.55 m ²
延床面積	849.70 m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建て
整備戸数	1棟12戸
事業期間	平成30年～令和元年度
総事業費	282,115千円



▲ ファミリー棟

3 おわりに

単身者棟とファミリー棟が、将来の志賀町を支える若い方たちの良好な居住環境となり、この地域に定住し、一層の活性化が図られるよう今後もサポートしていきます。

【 問合わせ先 】

志賀町役場まち整備課

TEL : 0767-32-9211 (直通)

E-mail : machiseibi@town.shika.lg.jp

あわづ おっしょべ広場「踊ろっさ」の完成

1 はじめに

本広場は、栗津温泉開湯千三百年を迎えるにあたり、廃業した老舗旅館の跡地を地域活性化の起爆剤にしたという地元の強い熱意もあり、町内会、旅館協同組合、観光協会などが一体となって、土地の活用に取り組んできました。

栗津温泉の中心部に位置し、周辺には、総湯や足湯、旅館も建ち並び、街なかをそぞろ歩きして、集う場所として絶好のロケーションにあることから、小松市南部の交流拠点として広場の計画が進められ、平成29年度より広場の工事に着手し、今夏、令和になって初めてのおっしょべまつりにあわせて完成となりました。

2 事業概要

広場名称：あわづ おっしょべ広場「踊ろっさ」

(令和元年おっしょべまつりにて、命名発表)

所在地：小松市栗津町ワ73-1外

敷地面積：約0.5ha

事業期間：平成29年度～令和元年度

全体事業費：約476百万円

整備概要：平板ブロック舗装（グリーンビズ使用）

崖地擁壁工（滝ヶ原石、観音下石で修景）

ステージ・階段工（滝ヶ原石使用）

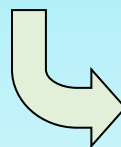
電気・照明設備

トイレ棟建築

植栽工（ツツジ・サルスベリ・シダレザクラ）

休憩スペース（四阿）

サイクルポート



3 地元での取り組み

地元の方々も栗津温泉再生の最後の機会と捉えて、この広場を栗津温泉や南部里山地域と連携した活用とすることを目指しています。これからのおっしょべまつりの開催拠点として、その他の地元地域イベントの会場として広場を活用し、地域住民による運営を行う予定です。

また、小松市も地域おこし協力隊を委嘱し、地元住民と一体となって広場の活用を進めています。



4 おわりに

この広場の完成により、栗津温泉の中心部に来訪者や宿泊者、地元住民が集う場所が出来ました。広場を数多く活用してもらうことで栗津温泉の賑わい創出につながることを期待されます。

【問合わせ先】

小松市都市創造部まちデザイン課

TEL:0761-24-8100

E-mail:toshikei@city.komatsu.lg.jp

いしかわ広告景観賞について

1 はじめに

屋外広告物は、景観を形成する重要な要素であり、無秩序に設置されると街の魅力を損ねてしまう一方、良質でデザイン性が高い広告物は訪れる人々にまちの表情として好印象を与えるものとなります。

石川県は、霊峰白山や加賀・能登の海岸など多彩な地形が織りなす自然景観をはじめ、優れた景観資源を有しています。こうした本県の誇る貴重な財産を守り育てながら後世に引き継いでいく必要があることから、県では、良好な景観形成につながる優れた屋外広告物を表彰する「いしかわ広告景観賞」を実施しております。

2 事業概要

「いしかわ広告景観賞」は、都市景観等の向上と屋外広告物に対する県民の関心を高めることを目的として、本県が全国に先駆けて、昭和63年から実施し、本年度で32回を迎えました。

【第32回いしかわ広告景観賞の概要】

主催：いしかわ広告景観賞実行委員会

(石川県、金沢市、石川県屋外広告業協同組合)

審査：審査委員長 大場吉美金沢学院大学名誉教授

表彰：知事賞（公共部門、民間部門）	2点
金沢市長賞	1点
石川県屋外広告業協同組合理事長賞	1点
各後援団体賞	10点



▲ 表彰式



▲ 受賞者による作品説明

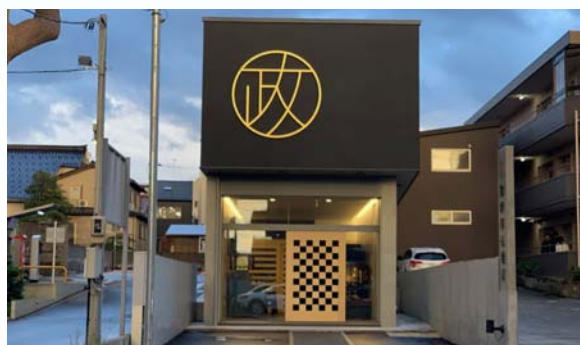
3 受賞作品（第32回いしかわ広告景観賞）

- ・石川県知事賞（公共部門）



▲ 学びの社ののいちカレード

- ・石川県知事賞（民間部門）



▲ (政) 塗師岡仏壇店

4 おわりに

景観に対する関心が高まる中で、回を重ねるごとに応募作品の質も高まり、優れたものが増えていきます。来年度も、たくさんの応募をお待ちしております。

【問合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL:076-225-1759

E-mail:toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

木場潟公園西園地のライトアップ完成について

1 はじめに

木場潟公園は、本県を代表する都市公園の一つであり、年間約70万人の方々に利用されています。その木場潟公園の西園地で、本年10月から、ライトアップが始まりました。



▲ 木場潟公園平面図

様々な表情を光で表現するため、高さ12mの位置から照射するプロジェクターを設置しました。

また、それを取り囲む湖岸のヨシや樹木(サクラ等)など木場潟の風景を表現するライトアップの整備を行うとともに、園路の散策を楽しめるようフットライトを設置しました。



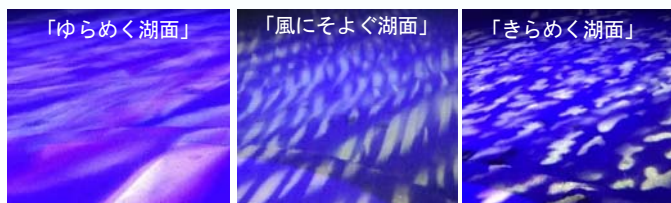
▲ ライトアップ全景

2 ライトアップ整備の経緯

県では、平成27年に木場潟公園西園地に白山眺望の拠点となる展望休憩所を整備し、平成29年にはその隣接地に、公募により設置されたカフェレストランLAGO BIANCO(ラーゴビアンコ)がオープンしました。カフェレストランは21時まで営業していることもあり、西園地では昼間だけでなく夜間の利用も進んでいます。

このような状況の中、木場潟公園の新たな魅力となる夜間景観を創出し、南加賀地域の観光交流拠点としてさらなる利用促進につなげるため、今回、西園地においてライトアップの整備をすることとしました。

芝生を湖面に見立てた演出では、木場潟を彩る青(湖面)、白(白山)、緑(木々の緑)、紫(菖蒲)の4色を5分ごとに切替え、さらに各色の上に「ゆらめく湖面」、「風にそよぐ湖面」、「きらめく湖面」という異なる動きのパターン(模様)をのせることで、木場潟の移り変わる様々な表情を表現しています。



▲ 芝生への光の演出パターン



▲ 木場潟公園西園地

3 整備概要

夜間お越しいただく方に木場潟をイメージしていただけるよう建物前の芝生広場を潟に見立て、湖面の

4 おわりに

令和元年10月19日に、知事や地元関係者の出席のもとライトアップ点灯式を行いました。

ライトアップは、通年、日没から21時まで点灯することとしています。今回のライトアップ開始により、カフェレストランとともに、木場潟公園西園地で新たな夜間利用が生まれ、多くの利用者に木場潟公園の魅力を感じていただけると考えています。

【問合わせ先】

石川県土木部公園緑地課

TEL:076-225-1772

E-mail: e251800a@pref.ishikawa.lg.jp

センターだより

～「まちづくりシンポジウム in 輪島」を開催しました～

■ まちづくりに必要な視点や考え方を学ぶ

公益財団法人 いしかわまちづくり技術センターでは、住民主体のまちづくり活動への支援やシンポジウム、研修会の開催などにより、まちづくりに関する様々な活動をサポートしています。今回、その取り組みの一環として、石川県、輪島市と組織したまちづくりシンポジウム実行委員会が「まちづくりシンポジウム in 輪島」を開催しましたので、ご報告させていただきます。

■ 開催概要

- 開催日：令和元年11月30日（土）
- 場 所：輪島市文化会館
- 内 容：基調講演及びパネルディスカッション



▲ 会場の様子

■ 基調講演

基調講演では、一般社団法人 春蘭の里 代表理事の多田喜一郎氏に「里山景観の保全・再生～春蘭の里～」と題して、これまでの取り組みや景観資源を地域づくりに活用することのメリット、春蘭の里の現状や今後の展望などについてご講演いただきました。



▲ 基調講演の様子

■ パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、石川県景観審議会長の 大場吉美氏をコーディネーターとしてお迎えし、「景観からみた地域の魅力」をテーマに、輪島市内（白米千枚田、三井の里、門前町黒島、まんなか商店街）で活躍されている4名の方々をパネリストに、多田氏には引き続きコメンテーターとしてご参加いただき、今後の各地域の活性化について討論を行いました。



▲ パネルディスカッションの様子

■ 参加者の声

- ・ 景観を守り、残すことが観光客の増加、地域の魅力再発見につながる可能性を感じた。
- ・ 移住してこられた方、地元の方がそれぞれの考えで頑張っていることに感動した。自分自身もその一人として頑張りたいと思った。
- ・ 空家の活用が地域づくりに重要だと改めて感じた。

編集後記

今回は、都市計画道路 温泉中央南線（こおろぎ）の完成について特集しました。北陸新幹線の開通により、訪れる観光客も多くなってきており、地域の歴史を活かしたまちづくりは、たくさんの人に石川の魅力を知っていただけることでしょう。

県内には多数の温泉地があり、それぞれの地域ならではの魅力を備えています。この機会に皆様も地元の温泉地を訪れてみてはいかがでしょうか。

編集協力：石川県（都市計画課、公園緑地課）、小松市、志賀町
発行：公益財団法人
いしかわまちづくり技術センター
TEL：076-239-1616 FAX：076-239-1606
HP：<http://www.machisen.jp/>
発行日：令和元年12月